

横浜市といすゞ自動車株式会社はバッテリー交換式EVごみ収集車を 横浜市内のごみの収集作業で運用する実証実験を開始します ～ごみ収集車で国内初の左右両側に搭載したバッテリーの同時交換を実現～

横浜市といすゞ自動車株式会社（以下「いすゞ」）は、ごみ収集車として国内初となる、車両の左右両側から同時にバッテリー交換可能なEVごみ収集車及びバッテリー交換ステーションを市内のごみ収集作業において運用する実証実験を、令和8年6月より開始します。

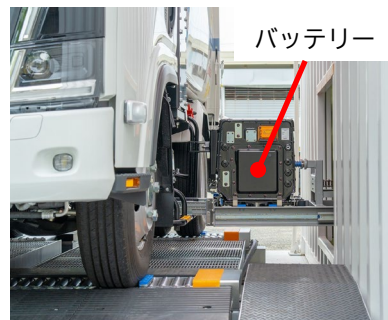
いすゞとの
連携協定取組
第3弾

1 概要

令和5年10月に、横浜市といすゞは「横浜市内の商用車部門におけるカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しており、本協定に基づく取組の一つとして、バッテリーを左右両側に搭載および同時に交換できるEVごみ収集車2台を実際の収集作業に使用し、運用面の効果を検証します。



EVごみ収集車（実証実験用）



バッテリー交換ステーション

■実験概要

実証期間（予定）	令和8年6月～令和10年3月
車両台数	2台
車両用途	市内家庭ごみの収集、運搬
バッテリー交換ステーション設置場所	資源循環局神奈川事務所（住所：神奈川区千若町3-1-43）
実証エリア	横浜市内（主に神奈川区内）
主な役割	横浜市：実証実験のフィールド提供、EVごみ収集車でのごみ収集業務、実証データの提供、運用上の課題の抽出 いすゞ：車両とステーションの開発・設置・管理、実証実験プロジェクト管理、事業性・脱炭素効果検証

裏面あり



GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 ごみ収集車のEV化

市内最大級の温室効果ガス排出事業者である横浜市役所では、令和5年1月に「横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）」を策定し、CO₂削減に向けた様々な取組を進めています。

横浜市内における令和5年度のCO₂排出量の約2割が運輸部門から排出されており、このうち約4割が貨物・営業用自動車（≒商用車）から排出されています。

そのため、ごみ収集車を始めとした商用車のEV化の取組の推進が求められています。本実証実験は、EV化が難しいとされるごみ収集車の課題解決に向けたトライとなります。

○ ごみ収集車の特徴



○ ごみ収集車のEV化の課題

- ・ 架装部（ごみの積込部）を動かす動力も必要のため、走行目的に加えての電力の確保が必要
- ・ 日々の収集作業を止めないように短時間での充電完了が必要

3 いすゞ自動車株式会社について

いすゞは、車両の使用用途や運行特性に応じた最適なカーボンニュートラルソリューションの提供を推進しています。本実証で使用する「バッテリー交換式エルフEVごみ収集車」は、従来の固定式EVと比べてダウンタイム（車両の停止時間）が大幅に短縮され、ごみ収集車のEV化に貢献します。

バッテリー交換ステーション説明動画

URL https://youtu.be/s7JB_ylqehA?si=CmfXMMKnIbvVYJLY

二次元コード



4 実証実験開始に伴う現地お披露目会



市長挨拶



記念撮影

※写真のデータをご希望の方は、問合せ先（車両課長）までご連絡ください。

お問合せ先				
(実証実験の車両について)	資源循環局	車両課長	濱崎	Tel 045-441-8201
(実証実験の車両の運用について)	資源循環局	業務課長	石川	Tel 045-671-2532
(横浜市の脱炭素について)	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	循環型社会推進課長	松下	Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

